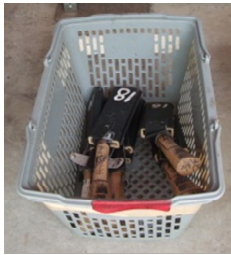


1, 必要な道具を用意しよう。

- ① 管理棟から「なた」をカゴごと持ってくる。(棟で1つ)



ポイント

なたを返すときも、カゴに入れて管理棟まで返しに来てね。

注意

まきを運ぶときは軍手をしよう。
とげが刺さるかもしれないよ。

- ② まき小屋から「まき」を持ってくる。



2, セッティングしよう。

自分たちが使う「かまど」のとなりを「まき置き場」にする。

3, 火をおこそう

- ① 割りやすそうなまきを選ぶ。

ポイント

ふしがなく、薄い木を選ぼう。

- ② 利き手と反対の手に軍手を二重につけ、まき割をする。細いたきぎを15本くらい作る。

絶対に「なた」だけをふり下ろさないこと。
必ずまきと「なた」を一緒に持ち上げること。



「なた」が自分の足に当たるのを防ぐために足を
開いてまきを割ること。

注意

下の土台にまきを打ち付ける瞬間にまきを持っ
ていた手をはなすこと。

必ず大人が見ているところでまき
割りをしよう。

- ③ かまどで「まき、たきぎ、新聞紙、マッチ」を使い、火をつける。



上のようににまきを置く

丸めた新聞紙を置く

たきぎのをせる

マッチで新聞紙に

火をつける

ポイント

まずは自分たちで挑戦してみよう。
つかなかったら助言をもらおう。

注意

決して火をいたずらに使ったり、遊んだりしないこと。

- ④ たきぎに火がついたら、火力を調整する。
だんだん太いまきをくべる。

ポイント

火ははんごうのふたの高さくらいまでにしよう。

- ⑤ ご飯が炊きあがりそうになったら、まきは足さずに燃えつきるようにする。

4. 片付けよう。

- ① あまった「まき」や束ねるのに使っていた「針金」は「まき小屋」へ返す。
② 管理棟の西側にある一輪車を1台持ってくる。
③ かまどの灰や炭を集めて、一輪車の荷台に乗せる。
火ばさみ、スコップ、ほうき、十能（じゅうのう）などを使って炭や灰を集める。
④ 消火を確認してB棟トイレ横の「灰捨て場」に捨てる。
⑤ 炊飯棟のゆかをほうきで掃く。
⑥ 道具を片付ける。
⑦ 調理台下、かまど周辺、流し、テーブル下を清掃・確認する。
⑧ 最後に職員に炊飯棟チェックをしてもらう。



十能（じゅうのう）

注意

かまどにある鉄のあみ（グレーチング）は重いので子どもは絶対に動かさないでね。

管理棟周辺地図

